

社会資本総合整備計画（地域住宅計画）の事後評価報告シート

1. 事後評価を実施した社会資本総合整備計画（地域住宅計画）	
①計画の名称	長柄町地域（三期）
②都道府県名	千葉県
③計画作成主体	長柄町
④計画期間	平成30年度～31年度
⑤計画の目標	町営住宅の長寿命化を図るとともに、入居者が快適で安全な生活を営める居住環境を形成する。
2. 事後評価の内容	
⑥実施体制・時期	計画策定主体である長柄町にて実施（令和5年12月）
⑦事後評価の結果	指標1：「既存町営住宅の住環境向上及び安全性の確保」 定義：屋根・外壁の長寿命型改善工事の実施 結果：従前値：0%（30年度）⇒目標値100%（31年度） 実績値：100% 結果の分析：公営住宅ストック総合改善事業を活用し、目標である30棟（60戸）全ての屋根・外壁塗装工事を行った。
⑧結果の公表方法	長柄町公式ホームページにて公表
3. 事後評価の結果を踏まえた今後の住宅施策の取組への反映等	
⑨今後の住宅施策の取組への反映	人口は、平成5年度以降減少傾向にあり、少子高齢化の進行が顕著である。 町営住宅は、昭和57年度から平成4年度までに132戸が建設され、また平成14年度に旧特別県営住宅31戸を町営として引継ぎ、計163戸を管理している。 現在、入居者の要望等により適宜修繕等を加えながら居住水準を確保している状況である。 次期計画では、ユニットバス設置やトイレ改修（和式→洋式）を実施予定。 入居者の高齢化に伴う福祉対応やバリアフリー・居住環境の質向上を目標に計画立てを実施する。
⑩その他	引き続き次期計画である長柄町地域（四期）においても、町営住宅の長寿命化を図るとともに、入居者が快適で安全な生活を営める居住環境を形成する。